【平成 26 年・前期学期・マクロ経済学 I・演習問題 1】

☆ 締め切り：平成 26 年 5 月 20 日講義開始時

注意事項：

- (1) 提出用の解答は、指定された表紙を利用（HP からダウンロードする）してください。2 ページ目以降の解答には A4 用紙を用いて、片面のみに解答を書いてください。裏面に書かれた解答は考慮しません。（コンピューター室などで印刷したときの不要用紙などを使っても構いません。）また提出に際しては、左上 1ヶ所をホチキスで止めて提出すること。
- (2) 解答は、答えだけでなく、どのように考えたかがわかるように途中の計算過程など、出来るだけ丁寧に書いてください。
- (3) 計算問題において、割り切れない数などがある場合には、小数点以下第三位で四捨五入して計算してください。
- (4) 短答式の問題がありますが、主語・述語のある文章で答えてください。尻切れトンボの解答は減点の対象とします。
- (5) 解答は問題の順番に書いてください。また、各ページに番号を振ってください。
- (6) 成績の自己管理のために、返却する解答は必ず取りに行き、成績が出るまで保存しておいてください。

【問1】 つぎの文章に答えなさい。

(ア) 「フロー変数」と「ストック変数」について説明し、違いを述べなさい。

(イ) GDP と GNP の違いを述べなさい。

(ウ) 次の項目のうち GDP に含まれないものはどれか示しなさい。

- ① キャベツ農家が、作物の一部を自分の家で消費した
- ② 株式市場でソニーの株を、1 千万円分購入した。
- ③ 日本の支社で働く外国企業の外国人が得る所得。
- ④ マンションを所有している人が、そのマンションを賃貸したとした時の家賃。
- ⑤ サラリーマンが家庭菜園できゅうりを作って消費した場合のきゅうりの市場価格。

【問2】 ある経済では、パンのみを生産している。パンが出来上がるまでのプロセスが、①

小麦農家→②製粉工場→③パン工場→④パン屋→⑤消費者

の順番で製品化されるとしたとき、次のようにこれらの企業の金銭の授受が記録されるとすると、

(ア) 下の表のようにこのプロセスについての各生産段階での取引が記録されている。空欄

(i) ～ (iv) はいくらになるか求めなさい。

(イ) このプロセス①～④の各生産過程で生み出される GDP への寄与はいくらになるか、生産段階ごとに答えなさい。

(ウ) これらの生産段階で支払われる、地代、賃金、利潤、利子払いの総額はそれぞれいくらになるか示しなさい。

(エ) 中間財の総額はいくらになるか示しなさい。

(オ)

表：パンの生産プロセスでの金銭授受（単位＝千円）

(小麦農家)		(製粉工場)	
受取	支払	受取	支払
小麦販売額 (i)	地代 100 賃金 130 利子払 50 利潤 30	小麦粉の販売額 (ii)	小麦の購入額(i) 地代 100 賃金総額 100 利子払 0 利潤 200
(パン工場)		(パン屋)	
受取	支払	受取	支払
パンの販売総額 1060	小麦粉の購入額 (ii) 地代 120 賃金(iii) 利子払い 100 利潤 10	消費者への販売総額(iv)	パンの購入額 1060 賃金総額 200 利潤 0